

台湾銀行資料データベース

臺灣銀行所藏日治時期文書

公開記念ワークショップ

このたび中央研究院台湾史研究所において戦前期台湾銀行の資料が整理され「臺灣銀行所藏日治時期文書」として公開されました。公開までの経緯やデータベース利用をした研究例について報告していただきます。

日時: **2015年3月7日(土) 10:30-17:00**

場所: **人文科学研究所4階大会議室**



- 京都大学 北門入ってすぐ右
- 市バス 17・203系統「京大農学部前」下車 徒歩1分
31・201・206系統「百万遍」下車 東へ徒歩5分
- 京阪電車「出町柳」下車 東へ徒歩15分

【申込不要・来聴無料】

問い合わせ先: 籠谷直人 kago*zinbun.kyoto-u.ac.jp *を@におきかえてください。

台湾銀行資料データベース
臺灣銀行所藏日治時期文書
公開記念ワークショップ プログラム

- 10:30-10:45 趣旨説明 籠谷直人(京都大学人文科学研究所教授)
- 10:45-11:00 挨拶1 小長谷有紀(人間文化研究機構理事)
- 11:15-11:30 挨拶2 謝国興(中央研究院台湾史研究所所長)
- 11:30-12:15 発表1「台湾銀行関係資料の移管の経緯と整理・保存・利用の状況について」
王麗蕉(中央研究院台湾史研究所檔案館館長)
黄燕秋(中央研究院台湾史研究所檔案館館員)
- 12:15-13:30 昼休憩
- 13:30-14:15 発表2「台湾銀行関係資料を用いた研究例とその利用実感」
久未亮一(日本貿易振興機構アジア経済研究所研究員)
- 14:15-14:30 休憩
- 14:30-15:15 発表3「アジア史研究における台湾銀行文書の利用：インドネシアを事例として」
泉川 普(広島女学院大学非常勤講師)
城山智子(東京大学大学院経済学研究科教授)
- 15:15-15:30 休憩
- 15:30-17:00 人間文化研究機構「日本関連在外資料の調査研究」カテゴリ-B最終年度にあたって
更なるの共同研究の発展に向けて
司会：籠谷直人(京都大学人文科学研究所教授)
鍾淑敏(中央研究院台湾史研究所副所長)

18:00より懇親会を行います。

発表言語 日本語および中国語(通訳あり)

主催：京都大学人文科学研究所

人間文化研究機構「日本関連在外資料の調査研究」プロジェクト研究カテゴリ-B

植民地期台湾・「南洋」における日本人社会に関する資料の調査・研究(代表：籠谷直人)

共催：日本学術振興会 科学研究費補助金

基盤研究Aグローバル化時代のアジア・ネットワーク地域社会変容：ジャワ海港都市を事例として(課題番号：24242022)

挑戦的萌芽研究「熱帯圏における日本人社会の形成についての経済史」(課題番号：24653078)